

いわた羅針盤

ら しん ばん

2023年
9月号

9/1発行

No.92

令和5年6月定例会



特集

高校生の目線

CONTENTS

- P 2 特集 高校生の目線
- P 4 市議会災害等対策会議
- P 5 市議会業務継続計画（議会BCP）
- P 6 6月定例会議案審議
- P 8 一般質問（9人）
- P 14 トピックス
- P 15 磐田市議会「シティミーティング」を開催
- P 16 審議結果 ほか

特集 高校生の目線

「いわた羅針盤」の表紙は、平成30年12月号から市内の高校生が撮影した写真を掲載しています。

今回の特集は、市内の高校に通う生徒10名に、高校生の目線から「いわた羅針盤」がどのように見えるのか、磐田市のことと併せて伺いました。

(取材日：令和5年7月19日)

(聞き手：市議会広報広聴委員会 永田隆幸委員長、平田直巳副委員長)

——磐田市のいいところはどこですか。

▼市内どこでも差がなく、住みやすいところですよ。

▼自然豊かで住みやすいところがいいですが、若者の楽しむところが少ないので、市内全域で楽しめる場所があればいいです。

▼挨拶したら皆さん返してくれて、学生の登下校時も見守ってくれていることです。

▼豊岡地区に住んでいて、とても自然豊かなのがいいですが、災害で山が崩れてしまい、川の堤防も崩れてしまうなど心配なところがあります。

▼農業も工業もとても栄えていて、様々な分野でいい影響を与え合っていると思います。

▼スポーツ関連のイベントでも盛り上がっていることです。

——磐田市に取り組んでほしいことを教えてください。

▼遊ぶ場所でもいいですが、ゆつくりできるカフェなどがあるといいと思います。

▼人口の多い地区が元気になると、市全体が元気になると思います。

▼自転車で走るのに危ないと思うので、専用スペースでなくても、もう少し走

▼とてもいいイメージを受けますし、中学生から見た目線でもこの高校は楽しそうだという考えを持つと思うので、いいと思います。

▼高校生などいろいろな人に気を配っているのが伝わってきて、しかも高校



磐田南高等学校
立石 悠隼さん



磐田北高等学校
永井 聖也さん

——高校生が撮影した写真を表紙の写真に使うのはどうですか。

▼振り仮名をつけることで、小さい子や若者も読めるし、外国人も読めるようになるのいいと思います。

▼地区名を文字だけではなく簡単な地図を使うとわかりやすくなると思います。

▼すぐく字が多いと感じました。トピックスやインフォメーションはスペースがゆとり使われているのいいと思います。

▼高校生が撮影した写真を表紙に使うので、その学校の紹介を入れると中学生も興味を持つと思います。



磐田農業高等学校
川崎 真央さん



磐田西高等学校
櫻井 大空さん



磐田東高等学校
佐渡 亮介さん

もし自分が表紙を作るとしたらどのようにしますか。

▼写真をもう少し大きくしたほうが見栄えがよく、若い人も手に取りやすいと思います。

▼背景に自然を持ってきて、手前に磐田の人という構成にして、明るいイメージを出したほうがいいと思います。

▼写真をもう少し同じ系統で増やしたり、月によって色を変えたりしてもいいのかなと思いました。

▼磐田市内に在学している高校生としての目線で撮ることのできる風景を載せたら、目に留まる表紙になるのではないかと思います。

生が写っていると生き生きしている感じがしていいと思います。

▼高校生活の様子を表紙として使うのはいいと思います。表紙を見て興味を持って手に取る人もいると思うので、表紙に関係した内容を少し入れたほうがいいと思います。

▼私は過去、表紙を担当してとてもうれしかったです。私の友達も表紙を担当してすごく喜んでいました。写真を撮った本人はともうれしく思っていて、周りからの評判もとてもよく、高校生の写真を表紙に大きく使っていて目に留まりやすいので続けていってほしいと思いました。

取材を通じ、高校生の皆さんの素直なご意見を伺うことができました。いただいたご意見は「いわた羅針盤」の制作等に生かしてまいります。また、議会に対するイメージが変わり、意見が言えたことで市が変わると期待していただけたことから、幅広い世代の皆さんが市議会に関心を持ち、声をお寄せいただける環境づくりが重要であると感じました。今後も議会の広報広聴活動に力を入れてまいります。

取材を終えての感想をお聞かせください。

▼他校の方と意見交換できたことがよかったです。また、議員のイメージが変わりました。

▼磐田について考える機会になりました。

▼市の改善点を話すことができ、もっと良い市になると思えてよかったです。

取材を終えての感想をお聞かせください。

▼表紙は季節感や写真との色のバランスを考えるといいと思いました。

▼季節ごとに、テーマを決めるといいと思います。

▼写真が一枚で寂しい感じがあるので、写真をもう少し増やしたほうがきれいではないかと思います。



磐田南高等学校
江間 有隼さん



磐田北高等学校
佐藤 香歩さん



磐田農業高等学校
赤川 由依さん

行エリアを広くしてもらいたいです。

▼娯楽や軽スポーツができる施設が欲しいです。

▼大雨で川が氾濫する前に工事して、安全に暮らせるようにしてほしいです。

▼屋外で高校生が楽しめるイベントがあるといいと思います。

——議会だより「いわた羅針盤」を読んだ感想を教えてください。

▼内容をカラフルにするなど、若い人の興味を誘うようにするのいいと思います。

▼若者の興味が湧くような内容にするのいいと思います。色使いはわかりやすいと思います。

▼内容が難しいです。1ページだけでも小さい子から若い世代が読めるページがあるのいいと思います。



磐田西高等学校
袴田 明奉さん



磐田東高等学校
山下 詩織さん

災害等発生時の議会・議員の役割は ～磐田市議会業務継続計画（議会BCP）～

令和4年台風第15号と令和5年台風第2号に伴う豪雨災害、1年経たない間に市内は2度、大雨による被害を受けました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
市議会は、災害等の発生時においても責務を果たすため、必要な組織体制や議会・議員の役割を「磐田市議会業務継続計画（議会BCP）」に定めています。ここで、その概要を紹介します。

市議会は市民の生命・財産に被害を及ぼす大規模災害のような事象が発生した場合においても、二元代表制のもと議事機関としての役割を果たし、議案の審議・審査を行うことや政策の効果を適切に評価するといった機能を維持していく必要があります。このため、議会BCPは災害等発生時でも議会の機能を維持し、責務を果たすことを目的としています。

議会BCPの目的

既に策定されている他議会のBCPを参考に本市議会のBCP案を作成しました。案をもとに、平常時から災害等発生時の議会の対応を確認する会議体である「磐田市議会防災対策会議」で協議、検討を重ね、3年10月7日付けで策定されました。

3年度、総務委員会において、所管事務調査として「災害等対策」を調査・研究しました。検討の結果、本市議会のBCPを策定する必要があるとの結論に至り、議長に議会BCPを策定するよう申入書が提出されました。

議会BCP策定の経緯



災害発生時等の議会及び議会事務局の対応図

議会BCPの概要

議会BCPは、目的、災害時等の議会及び議員の行動指針、災害時等の市との連携・協力関係、議会BCPの発動、災害等対応組織、活動基準、計画の運用などの11項目で構成されています。

その中で議会は、市の災害対策本部体制に該当する災害等が発生するか発生する恐れがある場合、「磐田市議会災害等対策会議」を設置することとしています。災害発生時、特に初期段階では、災害等の情報の収集や要請等の行動は市が対応に専念できるよう配慮するとして、状況と必要性を見極めたうえで、この磐田市議会災害等対策会議に集約して行うことにしています。



議会BCPの詳細はこちらをご覧ください。

※BCPとは

自然災害などの緊急事態に遭遇したときに、損害を最小限にとどめつつ、業務の継続や早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における業務継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

磐田市議会災害等対策会議を開催 ～台風第2号に伴う豪雨災害の対応について～

令和5年台風第2号に伴う豪雨災害の影響により、市内北部に大きな被害が発生したため、6月9日に磐田市議会災害等対策会議を開催し、対応について市から説明を受けた後、質疑を行いました。



台風第2号に伴う豪雨災害直後の敷地川の様子



台風第2号に伴う豪雨災害直後の災害廃棄物置場

主な内容

- 【市からの報告】
- 当日の雨量、河川水位
- 避難者情報
- 被災の概要
- 市の対応
- 敷地川復旧の概要
- 支援メニュー
- 【質疑等】
- 台風第2号に伴う豪雨災害における質疑、意見、要望等

主な質疑

問 1年もたたず2回目の被災となった被災者へのメンタルケアの考えは。

答 ボランティア活動は前回の被災時に受け入れている家庭も多かったのですが、顔や精神的なつながりがあり、スムーズに支援をすることができました。この中で様々な声を聞くことができ、前回からのつながりで地域包括支援センターも既に関わっている。民生委員も日常的な見守りをしている。情報を集約し、保健師や関係機関が連携しながら適切に対応していきたい。

問 被災者支援における県との連携は。ボランティアセンターの開設に当たっては、全面的に県社会福祉協議会から支援を受けている。様々な関係機関からも継続して支援を受けている状況である。

問 敷地川の早期改修の要望等について把握状況は。

答 4年に被災し、様々な形で要望を受けているので、真摯に受け止め前に進めていきたい。

問 敷地川の決壊箇所の工事を早めに行う理由はあるか。

答 本復旧工事は梅雨が終わって雨が少なくなり、川の流れが少ない非出水期に開始せざるを得ない。出水期に本復旧工事をして今回同様に破堤してはいけないので理解していただきたい。

問 決壊箇所は、台風第15号からの復旧が県により進められてきているが、課題等の認識は。

答 河川堤防の復旧、特に決壊箇所の復旧が土のうでよかったのかは課題として受け止めている。仮の大型土のうでいいのか検証は必要だと思っている。市管理河川でも大型土のうや普通土のうでの対応は常態化しているのので、現場に応じた対応の必要性を強く感じた。

問 準半壊となる基準は。

答 罹災証明は、基本的に国の基準に基づき、浸かった壁や床の状況を見て総合的に判断、判定している。判定に迷う場合には、県や弁護士等に相談し、決めている。



磐田市議会災害等対策会議とは

磐田市議会災害等対策会議は、議員全員で組織します。役割は、市から災害等の状況について報告を受け、議員に情報を提供することや、議員が把握している情報を収集、整理し、市に情報を提供すること、災害発生後の応急対策、復旧、復興等について検討し、必要に応じて市長に提言等を行うことなどです。

これまで、新型コロナウイルス感染症、令和4年台風第15号、令和5年台風第2号に伴う豪雨災害の際に、その対応として設置されました。

議案審議

会期 6月15日～7月12日（28日間）

令和5年
6月
定例会

一般会計補正予算(第4号)などを審議

6月定例会では、市長提出の5年度一般会計補正予算などの一般議案14件、人事議案20件のほか、議員発議による条例の一部改正1件、規則の一部改正1件を審議しました。

なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。



この補正予算は、歳入歳出予算の追加並びに、債務負担行為の廃止及び追加であり、補正予算第3号の補正後の額に、歳入歳出それぞれ4億3831万6千円を追加し、総額を715億1609万5千円とするものです。

補正予算の主な内容

- 「書かない・行かない」窓口の整備に要する経費の増額
- データに基づく行政運営推進のための分析ツール導入に要する経費の増額
- 新型コロナウイルススワクチン接種体制の確保に要する経費の増額
- 海岸防潮堤整備事業における、市発注工事から県工事委託への変更に伴う債務負担行為の廃止及び追加

本会議での主な質疑

- 問** 現在の窓口業務の課題と今後どのような窓口を目指すのか伺う。
- 答** 課題は様々な手続きに申請書の記入が必要であること、住所や氏名など記入の内容が重複していることと認識している。今後は、市民のライフスタイルやニーズの変化に合わせた申請や届け出の手法を、デジタル化の推進によって整えていくことを目指す。
- 問** ※「書かない・行かない」窓口に対する市民の評価の確認は。
- 答** 現状も行っている来庁者アンケートを活用するとともに、利用者数がどれだけ伸びるかが評価になると考える。
- 問** データ分析の対象となる行政分野や政策立案は。
- 答** 当面は人口減少対策を中心に考えているが、活用していく中で、対象分野を広げ、データに基づく政策立案を進めていくためのツールとして活用していきたい。
- ※「書かない・行かない」窓口
「書かない窓口」とは、証明書の発行や住所異動のための申請書作成を職員が支援することで、窓口における手書きの負担を軽減するサービスのことです。
- 「行かない窓口」とは、スマートフォンなどを利用して申請することにより、市役所に出向くことなく郵送で証明書を受け取ることができるサービスのことです。
- 問** 新型コロナウイルススワクチン事業のうち接種事業管理運営委託料の内容は。
- 答** ワクチン接種を行う集団接種会場の運営業務を委託するもので、接種予約管理システムの運用や予約票のデータ化等の一連業務を委託している。
- 問** 放課後児童クラブに派遣する看護師の確保方法は。
- 答** 民間法人との業務委託契約により派遣を受けている。

議案
第46号

5年度一般会計補正予算(第4号)

全会一致で
可決

議案
第50号

市税条例の一部を改正する条例の制定

賛成多数で
可決

地方税法等の改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

(賛成…志、せ、新、公、創、力 反対…共)

討論がありました

条例の主な内容

- 森林環境税の創設に伴う賦課徴収の方法の規定の追加
- 軽自動車税種別割におけるグリーン化特例の特例期限の延長

本会議での主な質疑

- 問** 森林環境税を創設した経緯は。
- 答** 国において、国土の約3分の2を占める森林の有する地球温暖化防止や災害防止等の公益機能を維持・増進するために、必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設されたものである。
- 問** 市の徴収総額の見込みは。
- 答** 6年度は個人市民税均等割納税義務者数を9万3000人と見込み、1人当たり年税額が1000円のため、徴収総額は9300万円と見込んでいる。
- 問** 市民への周知方法は。
- 答** 広報紙・ホームページへの掲載に加え、納税通知書にチラシを同封するなど周知に努めていく。

反対 税制への悪影響を危惧

森林環境税は国と企業の責任を免罪するもので賛成できず、人頭税と言われてもおかしくない。また、今後の税制への悪影響も危惧される。今必要なのは、森林整備と林業対策を、国の責任、責務を明らかにし、根本的に講じることである。同時に、企業の責任が問われなければならない。日本共産党磐田市議団 高梨俊弘

賛成 森林を支える仕組み

森林環境税は、森林整備等のために必要な費用を国民一人一人が広く等しく負担し、森林を支える仕組みと理解した。軽自動車税種別割は、より環境性能の良い車両の普及を促進する観点からの措置が講じられている。車両の買い替え需要は地域の活性化につながり、改正は理解できる。

志政会 小柳貴臣

議会豆知識



市議会議員

4年ごとの選挙によって市民から選ばれた「市民の代表者」。本市議会議員の定数は条例で26人としています。

議長・副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。
議長は議会の代表者として、議場の秩序を保ち、議事を整理し、議会の事務を処理します。
副議長は、議長が不在のときや欠けたときに、議長の代わりに職務を行います。



本会議

議員全員で構成され、市議会の意思を決定するほか、市政全般について質問を行う会議です。市議会に提出された議案や市議会としての意見表明などの可否は、最終的にはすべて本会議において決められます。本市議会では、2月・6月・9月・11月に開会する定例会と、必要ときに開かれる臨時会があります。

議会運営委員会

円滑な議会の運営を図るため、議会運営全般について協議・調整を図る会議です。

常任委員会

条例で任意に設置することができ、市の事務に関する調査を行い、議案等を審査します。本市議会では総務委員会、民生教育委員会、建設産業委員会、予算決算委員会、広報広聴委員会の5つの常任委員会があります。

特別委員会

複数の常任委員会にまたがる事項や特に重要な事項等を審査するために、議会の議決に基づき設けられます。

持続可能な農業を目指して／市の政策課題について



一括質問

志政会 永田隆幸議員



持続可能な農業を目指して

問 多面的機能支払事業の推進についての取組の考えは。

答 農村環境の維持のため活動が継続できるよう団体の困り事の解決に取り組む。新たに活動を始める団体には、設立準備段階から連携し、事業内容の説明や活動計画の作成援助や補助のほか、広報いわたなどで情報発信していく。

問 新しい農業形態構築に向けての基盤整備事業の取組は。

答 かつての土地改良事業で整備した農地は、農業機械の大型化や農地の高度利用化に対応するため、大区画化や排水機能を向上させるなどの基盤整備が必要である。そのため地域の課題や要望を捉え、その地域に適した整備手法により農業環境を守り、農業収益の向上や営農が継続するよう担い手と地権者、地域、行政が一体となって取り組む。

市の政策課題

問 向陽学府小中一体校の説明会の計画は。

答 9月から10月末をめどに



これからの新型コロナウイルス感染症対策と諸課題／マイナンバーカードの諸問題／旧市民文化会館及び文化振興センター跡地の活用と児童館について



一問一答

日本共産党磐田市議員 高梨俊弘議員



新型コロナウイルス対策と諸課題

問 定点把握の影響と課題は。

答 感染予防に対する意識の低下が懸念されるが、保健所等と連携して感染の動向や対応策を共有し、市民に必要な情報が届くよう周知していく。

問 新型コロナウイルスワクチン接種状況と課題は。

答 5月8日前までの全人口に対する接種率は、1回目83・3％、2回目83・1％、3回目70・1％、4回目46・5％、5回目23・8％で、5月8日以降は6回目9・9％である。課題は個別接種を中心とする体制への移行である。

マイナンバーカードの諸問題

問 本市のマイナンバーカード申請者数と受取状況は。

答 5年4月30日現在、申請13万5702件、交付11万9665件で、人口に対する交付率は71・2％である。

問 国に対してマイナンバーカードの健康保険証利用の中止と健康保険証の継続使用を訴えるべきと考えるが見解は。

答 カード利用によるメリットの周知に努めるとともに、国の動向を引き続き注視していきたい。

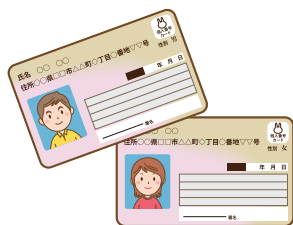
問 旧市民文化会館等跡地の活用と児童館

答 旧市民文化会館等跡地活用の5年度における検討は。

問 5年5月に検討のための庁内会議を立ち上げ、これまでの検討経過と現状を整理しながら協議を進め、5年度末までには市としての利活用案をまとめていきたい。

問 子どもの視点に立つて意見を聞きながら児童館設置を検討すべきと考えるが見解は。

答 現時点で児童福祉法に定義された児童館の設置は考えていないが、子どもの意見も踏まえ、複合的な機能を有する場の検討を進めていきたい。



市政を問う

一般質問

要旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。
6月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。
発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。
詳しくは、インターネットの録画映像でご覧いただけます。

磐田市議会 配信

検索

磐田市の人口維持・増加について／住むだけで健康になるまちを目指して／市長公約について



一問一答

志政会 芦川和美議員



本市の人口維持・増加

問 移住・定住施策と様々なデータの活用と開示の考えは。

答 主なターゲットを若者・子育て世帯と本市出身で大都市圏に住んでいる人として進めている。また、「人が集まるまちプロジェクト」を立ち上げ議論を進めている。データ活用等は、住民データを一元化、匿名化して分析できるツールを導入し、効果検証を図り、政策立案につなげるEBPMを推進していく。有用なデータは、民間への積極的な開示を検討していく。

若者定着の考えは。

答 市民と行政でつくる地域情報サイト「いーわいわた」を通じて、人と人がつながる機会を増やし、一人でも多くの若者を選んでいただけるまちづくりを目指す。

新たな企業誘致の考えは。

答 食やエネルギー、スポーツ関連などの次世代産業やスタートアップ企業など、多様な業種の誘致に積極的に取り組んでいく。

問 アントレプレナーシップ教育について調査・研究していく考えは。

答 「探究的な学び研究会」を新たに立ち上げ、探究的な学びに力を入れて、学校教育を進めていく。

住むだけで健康になるまちを目指して

問 働き盛り世代の健康づくりの取組は。

答 アプリやポイント活用の仕組みづくりに向けた実証実験を進めていくよう検討している。



市長公約

問 未達成事項に対する今後の対応は。

答 未達成の課題は、環境の変化や状況を見ながら、引き続き調査・協議を進めていく。

消防力・防災力の強化について／教育の諸課題について／ 浜岡原子力発電所再稼働の首長アンケートについて



問
答

日本共産党磐田市議員 根津 康 広 議員



消防力・防災力の強化

問 国の消防力の整備指針に基づく本市の充足率と課題は。

答 消防職員は必要数255名に対し現在209名で、充足率82%であり、職員の定数は常に検討している。

問 消防庁舎が大藤地区に移転することで、どのように機能強化されるか。

答 自然災害の影響を受けにくい場所であり、市街地と比べ必要な面積が確保でき、災害に強い防災拠点施設として複雑・多様化する災害への対応強化につながる。

教育の諸課題

問 不登校児童生徒の現状と第3の教育支援センターの内容と開設時期は。

答 不登校児童生徒は年々増えている状況で、4年度は489名である。センターは、先進事例の研究を基に方向性を決め、準備が整い次第、できるだけ早い時期の開設を目指している。

問 中学校部活動の指導におけるパワーハラスメント等の相談状況は。

答 4年度は不適切な言動に関する相談が5件、セクシャルハラスメントに関する相談が3件あった。今後も引き続き困り事や悩み事の把握に努め、一人一人の生徒に寄り添った指導をしていきたい。



浜岡原発

問 再稼働に関わる首長アンケートで「反対」から「その他」に変わったが、再稼働反対から後退したのではないのか。

答 市民の安全安心の確実な担保と理解が不可欠である姿勢に変わりはない。老朽化した原子炉への規制や審査の厳格化が示されるとともに、カーボンニュートラルの可能性も示唆されていることなどを考慮し、「その他」と回答した。

市民の日常の現状と今後について／ 小中学校でのマスク着用の現状について



括
問
質

新磐田 加藤 文 重 議員



市民の日常の現状と今後

問 本市における新型コロナウイルス感染者の状況はどのように把握しているか。

答 県の感染症発生動向調査で把握しており、現在の定点医療機関当たりの感染者数は、週3人程度である。県独自基準で注意報のレベルは西部保健所では10人以上、県全体では8人以上と定められている。西部保健所管内で高まってきたときは、周辺市町と一緒にしっかりと啓発していきたい。

問 マスク着用のガイドラインをしっかりと示し、市庁舎内、市民に対して「磐田市脱マスク宣言」をすることを求めたいが、考えは。

答 マスク着用は個人の判断によることから宣言までは考えていないが、マスクの着脱が強いられることがないように、国の考え方を周知していきたい。



問 国では、4月1日から学校教育の現場でマスク着用を求めないとしている。教育長として各学校にどのようなことを示したのか。

答 国の指針に基づき、マスクの着用を求めないことや、給食等で黙食の必要はないことを示した。

問 学校での給食の時間はどう過ごしているか。今までもどおりに戻すための今後の進め方の考えは。

答 大声は控えるが、近くの子どもたち同士では会話をしながら食事している。今後は、食育の観点からみんなで食べることの意義を再確認し、給食の在り方を検討するよう働きかけたい。まずは教師がモデルとしてマスクを外しながら活動し、マスクの着脱について子どもたちに考えさせる場を設けながら進めていく。

市の諸課題について



問
答

磐田の底力 柏木 健 議員



問 市の道路や通学路の補修、整備の考え方と要望方法は。

答 道路補修や整備の要望は、各自治会で取りまとめ道路河川課に提出してもらっている。提出された要望箇所は現地を確認し、採択箇所と優先順位を決定している。なお、緊急の案件は個人からも受け付けている。通学路の整備は自治会やPTA等学校関係者から要望を受け、教育委員会、公安委員会、道路管理者などが通学路合同点検において採択箇所を決定している。

問 国道150号バイパス事業の進捗計画とバイパスを活用した市南部地域の活性化は。

答 県によると、福田工業団地入口までの1・3キロメートル区間について7年度の供用開始を目指していると聞いている。それ以东は、県が市と調整しながら道路計画の検討を進めている。また、沿岸部で新たな産業用地の開発を進め、雇用の創出などに努めるとともに、誘致した企業と渚の交流館や竜洋海洋公園などが連携することで沿岸地域の活性化につなげていきたい。



掛塚磐田駅線の車両

問 駅前への高層マンション建設の誘導に関する市の所見と都市計画上の課題は。

答 駅周辺の定住人口の増加を図る上で高層マンションを建設することも有効であると認識しており、磐田駅北37街区の一部、天平のまちで高度利用地区の指定をしているが、指定をしていない現在の用途上でも、高層マンションの建設は可能なので、都市計画上の課題はないと考えている。

問 掛塚磐田駅線路線バスを日曜日に走らせない理由は。

答 退出路線の主な利用者であった高校生の通学等の状況に基づき、限定した内容での運行となっている。

スポーツのまちづくり／市民の社会参加について／ 持続可能な社会づくり（ゼロカーボンシティへの取組）



問
答

新磐田 松野 正 比 呂 議員



スポーツのまちづくり

問 [※]スポーツプラットフォーラムの準備状況と課題、今後の進め方は。

答 プロスポーツチームや大学等の若手によるワークショップの開催やスタジアムを中心としたまちづくりの先進事例の調査研究を始めた。プロスポーツチームや大学などと連携しながら枠組みづくりを進める。

問 プロスポーツの広域化を契機とした地域活性化についての見解は。

答 県西部地域全体でジュビロ磐田を応援する機運が高まり、活躍の後押しができることを期待している。スポーツには、エリアを超えてまとまる力がある。本市がプラットフォーラムの中で考え、それを横展開するような仕組みがうまくできたらと思っている。

問 ウォーキングコースを設定し、発信する取組は。

答 史跡や観光名所を巡るウォーキングコースについて、市や観光協会のホームページ等にて、特設ページをつくる

など広く紹介していく。



市民の社会参加

問 ボランティア人材バンクの現状と課題は。

答 積極的な活用がされていないのが現状で、課題は、より参加しやすい仕組みづくりや活動内容のマッチングが難しいことである。

持続可能な社会づくり

問 市の施設等における具体的な取組は。

答 ごみや汚水の処理施設については、食品ロス削減など事業者と連携したごみの減量に取り組みとともに、下水処理施設において下水処理水を使用したサツマイモの栽培を行う中でバイオマス資源としての活用を研究している。



問
答



せいわ会 加藤 公人 議員

磐田市の火災予防

問 4年9月、破砕プラスチック等を野積みしていた事業所で大きな火災があったが、市内に同様な事業所があるのか、また、あった場合、指導を行ったか。

答 火災発生直後、類似する事業所へ立入検査を実施した結果、法令違反が4件あり、所有者等に指導を行った。

デジタル技術の活用

問 市の史跡などの歴史的箇所の保護・伝承にXR（クロスリリアティ）を活用する考えは。

答 クロスリリアティの技術は日進月歩であるため、今後史跡を紹介するために効果的な手法を研究していく。



学校や公共施設のトイレ

問 市内の小中学校の洋式化を推進するうえでの現状と課題は。



一
括
質
問



志政会 小柳 貴臣 議員

健康寿命の延伸について／スポーツのまち磐田の取組について

健康寿命の延伸

問 フレイル[※]予防の現状について考えを伺う。

答 フレイル状態の深刻化により、生活に支障をきたしてしまいう方もいることから、本人や家族、周りの方が早めに気づき、安心で健康な生活が送れるようにする仕組みづくりをしていきたい。

問 フレイル予防について市民への普及啓発の方法及び取組について伺う。

答 広報いわたで、周知するほか研修会などで、早期相談につながるよう高齢者への声かけのお願いするなど、普及啓発に努めている。取組は、5年度モデル事業として、自立支援モデル共創プロジェクトを実施しており、明らかにした課題等を整理し、市民に広げられる効果的な方法を検証していきたい。

スポーツのまち磐田の取組

問 ホームタウン拡大による今後の支援と期待、6市1町との連携について伺う。

答 現在行っている、ジュービ



口磐田との連携事業は継続して行っていく。ホームタウン拡大により、県西部地域全体でジュービ口磐田を応援する機運が高まり、より多くの人がチームの活躍を後押しすることを期待している。この広域化を新たなチャンスと捉え、中心となって戦略的にプロモーションを行い、新たなファン獲得につなげていきたい。

問 サッカーやラグビーの地元開催試合での本市の経済効果について伺う。

答 プロスポーツチームや関係団体と協力し、来場者を増やす取組を行うとともに、民間事業者が算出している経済波及効果等を参考に、市内経済への波及につなげる手法を検討する。

一般質問 用語解説



※1 EBPМ（P8）

証拠に基づく政策立案と訳され、政策の企画をその場限りの話題に頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠に基づくものとする事です。

※2 スタートアップ企業（P8）

技術革新を起こして、短期間で圧倒的な急成長を遂げる事業を展開する企業のことです。

※3 アントレプレナーシップ教育（P8）

起業家精神と起業家の資質・能力を有する人材を育成する教育のことです。

※4 多面的機能支払事業（P9）

農家ではない地域住民を交えて地域共同で行う、水源かん養や自然環境の保全等といった多面的機能を支える活動や、農地、水路、農道等地域資源の質的向上を図る活動を支援する事業です。

※5 カーボンニュートラル（P11）

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることです。つまり、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることがです。

※6 スポーツプラットフォーム（P11）

スポーツの情報を提供する環境、基盤のことです。

※7 XR（クロスリアリティ）（P12）

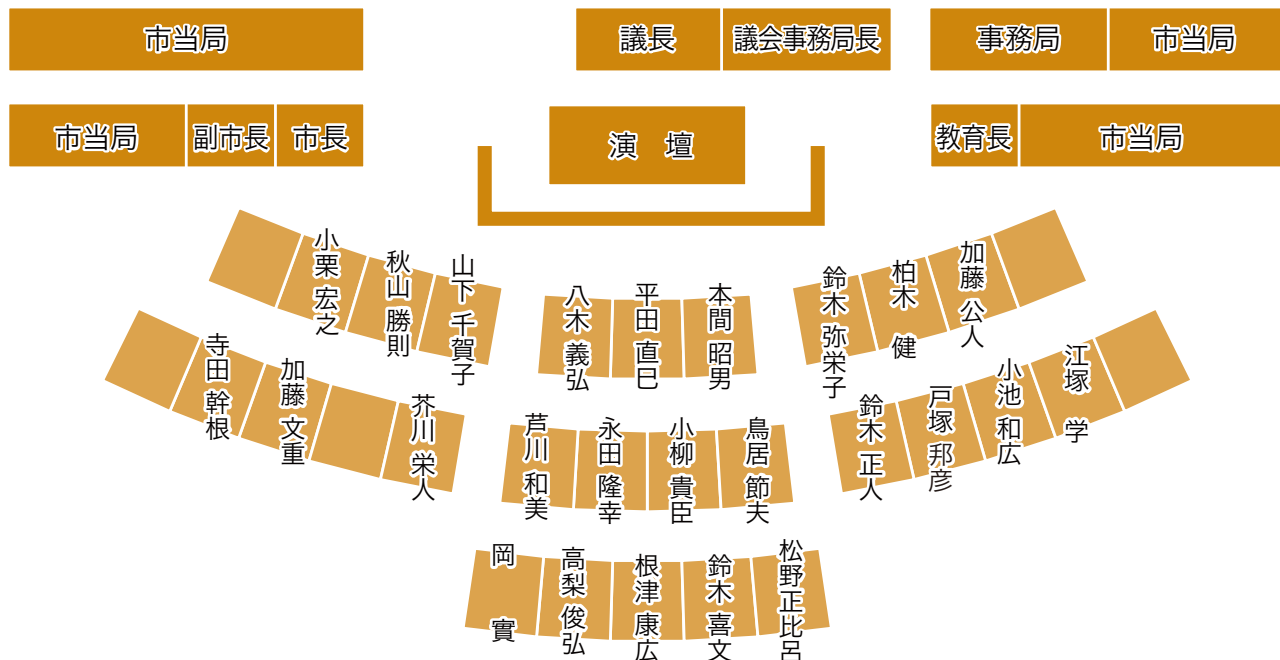
VR（仮想現実）・AR（拡張現実）・MR（複合現実）など、現実世界と仮想世界が合わさることで新しい体験を作り出す技術の総称のことです。

※8 フレイル（P12）

健康な状態と要介護状態の中間の段階を指し、年をとって体や心の働き、社会的なつながりが弱くなった状態のことです。

議席配置図

（令和5年7月12日現在）





～行ってみよう！言ってみよう！～

磐田市議会「シティミーティング」

市議会では、市民に開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。
5年度は、皆さんからご意見をお聞きすることに重きを置くため、名称を磐田市議会「シティミーティング」として、議員が会場に出向いて開催します。
どなたでも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。



開催日 令和 5 年 10 月 29 日 (日)

内 容 ○議会からの報告
○ワークショップ（小グループでの意見交換）

時間・会場	時 間	会 場
	午前 10 時 00 分～ 午前 11 時 30 分（予定）	豊岡中央交流センター
	午後 2 時 00 分～ 午後 3 時 30 分（予定）	福田農村環境改善センター
	午後 5 時 00 分～ 午後 6 時 30 分（予定）	総合健康福祉会館（i プラザ）

※詳細は後日磐田市議会ホームページに掲載します。



過去の議会報告会の様子

問い合わせ 議会事務局 電話 0 5 3 8 - 3 7 - 4 8 2 2
FAX 0 5 3 8 - 3 7 - 4 8 4 5 E-mail gikai@city.iwata.lg.jp

Topics

5/17 ～ようこそ磐田市へ～ 行政視察受け入れ

兵庫県三田市議会が、本市議会の業務継続計画（議会BCP）と委員会のオンライン開催について視察に訪れました。視察では、これまでの取組を説明するとともに、質疑応答や意見交換を行いました。



7/19 議員研修開催

市議会は、国民健康保険事業の現状を理解し、これからの見通しについて理解することを目的に、議員研修を開催しました。

本市国保年金課長の説明により、国民健康保険事業の置かれた状況について理解を深めました。



7/27・28 議会運営委員会視察 ～三重県四日市市・松阪市へ～

議会運営委員会は、議会改革・活性化への取り組みを推進するため、三重県の四日市市と松阪市へ行政視察を行いました。視察先では、議会改革の取組や議会DX推進について、事例などの説明を受け、質疑応答や意見交換を行いました。



7/31 8/1・2 民生教育委員会視察 ～岡山県総社市・京都府京都市・大阪府大東市へ～

民生教育委員会は、障がい福祉や子育て支援について調査するため、岡山県総社市、京都府京都市、大阪府大東市へ行政視察を行いました。視察先では、障がい者雇用事業や子育て支援施策の運営などについて説明を受け、質疑応答や意見交換を行いました。



8/7 議員研修開催

市議会は、介護保険事業の概要や財政の状況について把握することを目的に、議員研修を開催しました。

本市高齢者支援課長の説明により、介護保険制度の現状や見通しについて理解を深めました。



審議結果

■全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 専決処分（５年度一般会計補正予算（第２号））
- (2) ５年度一般会計補正予算（第３号）
- (3) ５年度向陽学府小中一体校合併浄化槽外設置工事請負契約の締結
- (4) ５年度一般会計補正予算（第４号）
- (5) ５年度病院事業会計補正予算（第１号）
- (6) 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- (7) 印鑑条例の一部改正
- (8) 火災予防条例の一部改正
- (9) 浜松市と磐田市との間の証明書等の交付等に関する事務委託の廃止

- (10) 袋井市と磐田市との間の証明書等の交付等に関する事務委託の廃止
- (11) 湖西市と磐田市との間の証明書等の交付等に関する事務委託の廃止
- (12) 森町と磐田市との間の証明書等の交付等に関する事務委託の廃止
- (13) 海岸防潮堤建設工事（第２工区）委託に関する契約の締結
- (14)～(32) 農業委員会の委員任命
- (33) 人権擁護委員の候補者推薦
- (34) 市議会基本条例の一部改正
- (35) 市議会会議規則の一部改正

■意見の分かれた議案

件名	会派名 志政会 9人	せいわ会 6人	新磐田 3人	日本共産党 磐田市議団 2人	公明党磐田 2人(※)	市民と 創る磐田 2人	磐田の底力 1人
市税条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○

※公明党磐田の会派人数は２人ですが、採決は鈴木喜文議長を除いた１人で行います。

○：賛成 ×：反対

■本会議で行われた選挙

- (1) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

■その他

- (1) 閉会中の継続調査
- (2) 市議会議員の派遣

9月定例会の予定

（9月8日～10月13日）

日	月	火	水	木	金	土
9/3	4	5	6	7	8	9
					本会議 (議案上程)	
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 (議案上程)					
17	18	19	20	21	22	23
		本会議 (一般質問)			本会議 (議案質疑)	
24	25	26	27	28	29	30
	本会議 (議案質疑)	予算決算委員会分科会(審査) 常任委員会(審査)				
10/1	2	3	4	5	6	7
				予算決算委員会 (採決)		
8	9	10	11	12	13	14
					本会議 (採決)	

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合もあります。一般質問を行う議員の順番や内容につきまして9月15日(金)にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。

表紙の写真

静岡県立磐田西高等学校 1年生

すずき はな
鈴木 花那 さん

磐田城山球場で野球応援に参加しました。音楽部、ダンス部、応援団、生徒会、有志の応援生徒と共に一生懸命応援しました。暑い中でしたが、この日のために応援練習をやってきたので、皆の息が合った応援ができました。今年の磐西野球部は16年ぶりに三回戦まで勝ち進み、皆で勝利の喜びを分かち合うことができました。



令和5年度は4年ぶりに対面での議会報告会「シティミーティング」を予定しています。「広報」と「広聴」に分けて、一人でも多くの方にご参加いただけるように工夫していきたいと考えています。

そして、定例会や委員会に係る情報を市民の皆さんに、より身近に、そして少しでも興味や関心を持っていただけるように、他市の事例等を参考にしながら、広報広聴の在り方について、研究を重ねてまいります。

(平田直巳)

【広報広聴委員会】

- 委員長：永田隆幸 ■副委員長：平田直巳
■委員：八木義弘、山下千賀子、江塚学、芥川栄人、高梨俊弘

次回は12月1日発行予定です。